

令和4年度地域発元気づくり支援金事業

成果発表

合同会社つくえラボ

代表社員 馬淵沙織

合同会社つくえラボ

目的

富士見町に暮らす人、訪れる人が元気になる！
(社会参加・交流の機会創出)

合同会社つくえラボは、年齢・性別・障害の有無、居住地にかかわらず、誰もが自分の役割を持ち活躍できる場所、誰とでも楽しみながら体験を共有できる場所、
=地域の元気を生み出す居場所づくりを地域協働で実現します。

主役は地域の皆さんです。
私たちは、皆さんの意見やアイデアを常に取り入れながら、小回りを利かせて新しいことにもどんどんチャレンジしていく、柔軟性のある、地域とともに成長する会社を目指します。



目的 富士見町に暮らす人、訪れる人が元気になる！ (社会参加・交流の機会創出)

①居場所づくり (地域福祉・介護予防)

スポーツ・音楽・アート・手芸・外食を一緒に楽しむ集い
みんなのえんがわ／おとなの遊び場 (オレンジカフェ) ／にじいろむじか音楽会

②おつきそい人 (地域福祉・外出支援)

公共交通機関の利用が難しい方向け、ちょっとしたお楽しみのための外出に一連の流れでお付き添い

③畑作部・稲作部 (地域福祉×農業×観光)

地域の人から農ある暮らしの知識・知恵を学ぶワークショップや農業体験イベント
田んぼオーナー制度 (米づくり体験) ／結農フレンズ (農ある暮らし体験) ／ものづくりワークショップ

④じゅんかん育ちプロジェクト (地域福祉×農業×観光×環境)

クリーンユーキ肥料の販売／じゅんかん育ちの栽培・販売／じゅんかん育ち勉強会／ふじみ援農隊

令和4年度地域発元気づくり支援金事業

【事業名】 ともにつくる居場所づくり「農・福・観（環）」連携事業
地域みんなで作り出す！富士見町産じゅんかん育ち

【事業タイプ】 ソフト事業

【重点テーマ】 2050ゼロカーボンに向けた取組の推進

【事業期間】 令和4年4月1日～令和5年3月31日

【事業内容】

下水道汚泥由来の肥料を用いた「じゅんかん育ち」について学び、
富士見町ならではの資源循環モデルを構築する取組

じゅんかん育ちとは？

下水道資源（汚泥、処理水、熱・CO2）を有効活用して
つくられた農水産品やその加工品のブランド名



BISTRO下水道ブランドネームコンテスト
審査委員長

服部幸應氏

じゅんかん育ちとは？



美しく健康になる！



じゅんかん育ち
を食べる！

食材のブランド化



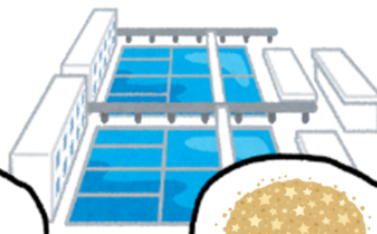
おいしい野菜
が育つ！



農業利用



未利用資源の有効活用



処理水



窒素・りん



熱・CO2



ともにつくる居場所づくり「農・福・観（環）」連携事業

～令和元年

令和2年（2020）

令和3年（2021）

令和4年（2022）

田んぼや畑をベースにした居場所づくり（地域福祉×農業） 野菜づくり・ワークショップ

都市農村交流（×観光） 田んぼオーナー制度（米づくり）

資源循環モデル構築（×環境）

未利用資源を
集める

汚泥発酵肥料



未利用資源でオリジナル肥
料をつくる

混合



オリジナル肥料
散布する

圃場に運

散布



じゅんかん育ちのお米や野菜
を育てる

耕す



じゅんかん育ち
勉強会

田植え

じゅんかん育ちのお米や野菜
を出荷・販売



ともにつくる居場所づくり「農・福・観（環）」連携事業

～令和元年

令和2年（2020）

令和3年（2021）

令和4年（2022）

田んぼや畑をベースにした居場所づくり（地域福祉×農業） 野菜づくり・ワークショップ

都市農村交流（×観光） 田んぼオーナー制度

資源循環モデル構築（×環境）



ともにつくる居場所づくり「農・福・観（環）」連携事業

～令和元年

令和2年（2020）

令和3年（2021）

令和4年（2022）

田んぼや畑をベースにした居場所づくり（地域福祉×農業） 野菜づくり・ワークショップ

都市農村交流（×観光） 田んぼオーナー制度（米づくり）



資源循環モデル構築（×環境）

フレイル予防
リフレッシュ
☞皆が元気なる！

福祉



環境

廃棄物の減容
ゼロカーボン・脱プラ

☞資源循環

農・食

土壌改善・品質向上

フードロス削減・販路拡大

☞地域経済の好循環

野菜づくり①土・畝づくり



野菜づくり②じゃがいも定植



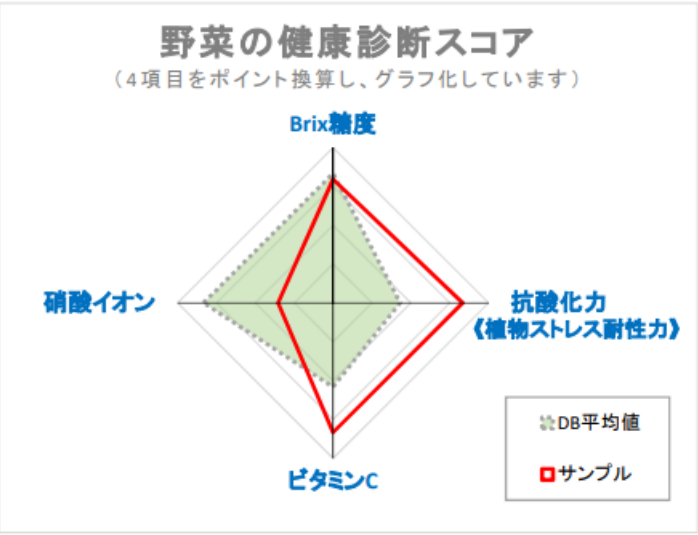
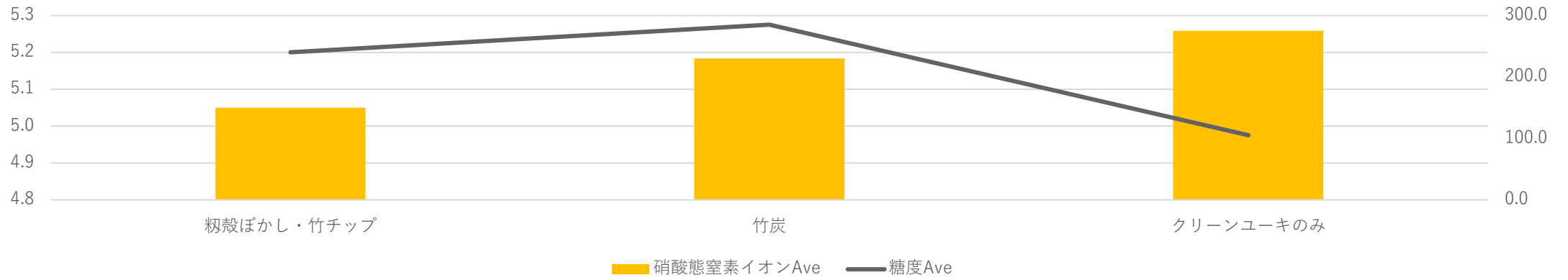
野菜づくり③じゃがいも食べ比べ



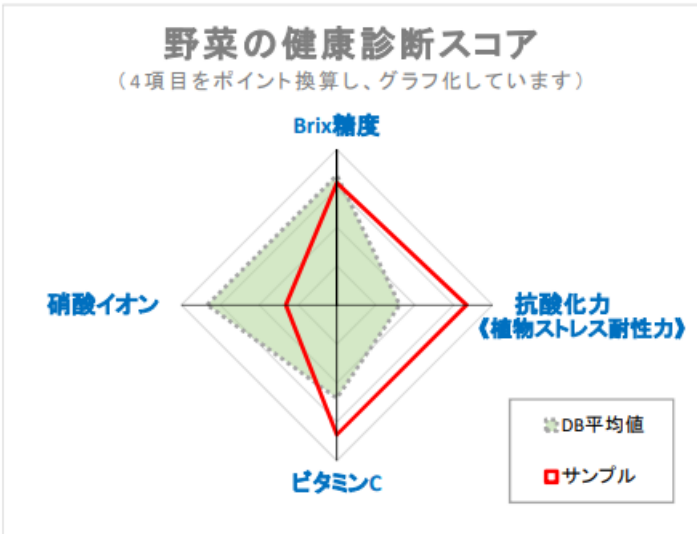
	A+B	C	D
N	150 130 200, 170	240 220	290 260
糖	5.5 5.9	6.5	5.6 4.7
度	5.0 4.4	5.5 4.6	5.1 4.5



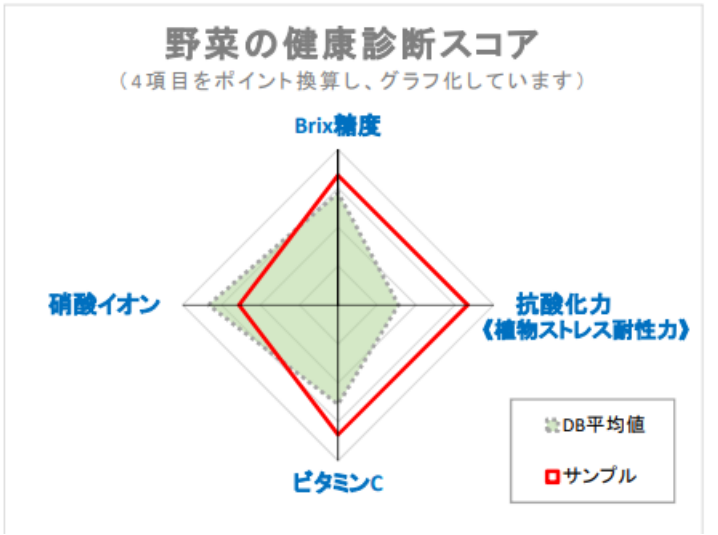
2023年度 野菜づくり③じゃがいも食べ比べ



食味 **4/5** においしい
 抗酸化力 **1.9倍**
 ビタミンC含有 **1.5倍**
 硝酸イオン含有 **やや低い**



食味 **5/5** 非常においしい
 抗酸化力 **2.1倍**
 ビタミンC含有 **1.4倍**
 硝酸イオン含有 **やや低い**



食味 **4/5** おいしい
 抗酸化力 **2.1倍**
 ビタミンC含有 **1.3倍**
 硝酸イオン含有 **やや低い**



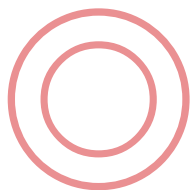
富士見町産じゅんかん育ちのすゝめ



成果と課題

あらゆる地域未利用資源（下水汚泥・粃殻・米ぬか・菌床・竹、等）を循環利用し、**土壌の健康**を保ちながら、**美味しい野菜・お米をたくさん作れる、誰もが取り組める**、富士見町ならではの循環型農業の実現を目指します！

収量・品質の向上



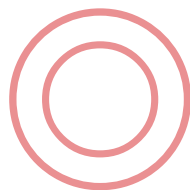
栄養価コンテストにエントリー

クリーンユーキ肥料と有機物を一緒に施用した作物は硝酸態窒素量が低く抑えられており、食味や栄養価も高い傾向。



じゃがいも部門でノミネートされ高評価

土壌の健康（環境配慮）



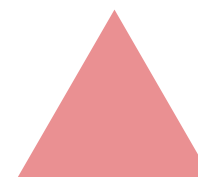
土壌の物理性・化学性を分析比較

- 対象圃場：机区内11圃場
- 有機物施用(6 圃場) 平均 67.0 点
- 慣行農法(5 圃場) 平均 62.8 点



有機物施用の地力向上（炭素貯留量増）への有効性が確認できた。

誰もが取り組める



クリーンユーキ肥料・炭素資材・活性液を別々に投入するのが大変

炭素資材として使用していた廃菌床が入手できなくなった



入手できる資材でオリジナル発堆肥をつくる！

富士見町産じゅんかん育ち*としてPR・販売

広がるじゅんかん育ちの輪

～令和元年

令和2年（2020）

令和3年（2021）

令和4年（2022）

- 富士見町社会福祉協議会
- 地域住民

- NPO循環型環境・農業の会（佐賀市）
- 下水道広報プラットフォーム（GKP）
- 地元企業労働組合 有志メンバー



- 東京大学
- クリーンユーキ株式会社



- 富士見町役場
- 共和化工
- アトリエデフ
- 自治体（下水道事業者）
- コンサル会社（下水道事業）



その後の展開

純国産の有機質肥料 N3.4 P5.7 K0.5
クリーンユーキ肥料



1袋15KG
350円
50袋以上注文の場合は
 1袋250円となります

お問い合わせ・ご注文はこちらまで
 0266-55-5882
留守電の場合は名前・電話番号を
 必ず残してください。
Googleフォームからも注文いただけます。

【肥料受渡日時】
 11月14日(火) 10-11時
 11月28日(火) 10-11時
 12月12日(火) 10-11時

【肥料受渡場所】
 JA信州諏訪 旧藩会支所
 (富士見町番台534)

販売元：合同会社つくえラボ 〒399-0214 長野県諏訪郡富士見町番台5949

日本には昔から、農繁期などに人手を出しあって皆で支えあう「結(ゆい)」と呼ばれる助け合いの絆、繋がりがあります。

農作業の多くが機械化された現在でも、人手が必要な時期には家族や親戚、ご近所が集まって一緒に農作業にいきしむ、そんな光景が富士見町ではみられます。

作業を手伝ってもらった後にお礼にゆいは、かえってくる言葉は「結だから」「お互い様だから」。

**ゆいのう
 結農フレンズ
 2023
 農のある暮らし体験
 会員募集!**

農作業のひとつひとつは地味で大変、一人でやると、もはや修行のような過酷さです。でも、自分以外に誰か一人でも一緒に作業してくれる人がいると、不思議と大変な作業も楽しく、頑張れるのです。そうして仲間と育てた野菜やお米の味はこれまた格別です。

富士見町内の畑や田んぼを舞台に、農作業やワークショップを通して「農のある暮らし」を体験し、一緒に楽しみ、支えあう仲間を「結農(ゆいのう)フレンズ」として募集します。

共催：カゴメ野菜生活ファーム・合同会社つくえラボ
 協力：ハッポウライ農業・ふじみ振興隊

つくえラボでは、下水汚泥、粉殻、菌床、竹などの地域未利用資源を有効活用した減農薬・減化学肥料の循環型農業に、地域の皆さんと一緒に取り組んでいます。

休耕田の復活と保全、また、コロナ禍においても可能な都市農村交流を目指しスタートさせた田んぼオーナー制度は、今年で4年目を迎えます。

のべラボ 田んぼオーナー制度 2024
 長野県富士見町河路地区
 じゅんかん育ちのコシヒカリ
**田んぼ
 オーナー
 募集!!**

米づくりを教えてくれるのは地元農家さんと地域の方々。わたしたちのオーナー制度では、土づくりから種蒔き、草刈り、ハゼ掛け、脱穀など、田植えや稲刈りだけではない米づくりと、ここでしか出会えない人・物・景色など、新たな発見と地域の良さを体験できます。

場所は八ヶ岳の麓、長野県諏訪郡富士見町河路地区。町内でも美味しいお米ができると言われる釜無川沿いの田んぼで、じゅんかん育ちのコシヒカリと一緒に育ててみませんか？

お申し込み・お問合せ：合同会社つくえラボ

現代農業 10
2023 土壌肥料 特集
October 2023

肥料オタクによる肥料調査
 今、推しの肥料10選

がんばらなくても
 土が育つ
**耕さない
 農業** 最前線

90歳、耕さない農業に目覚める「草は刈らずに留す」の最前線を見た耕さない農業で経営できる?

野草コンフリーが使える!
 コンフリー液肥、コンフリーマルチ作り

どんな応がる光合成細菌
「米ヌカだけ培養」やってみよう

に舍わない手作り液肥
 は風化量の少ないヘアリーベーン稲作
 豊産量も心配なし 果樹の草生栽培
 畑分は田舎野菜産地をお宝に変える
 堆肥をかしこくラクに使う
 土壌診断やってみた 液肥できた

音声で記事を聞ける!
「現代農業VOICE」

その後の展開

11月 勉強会・材料調達（落ち葉、粃殻、米ぬか、赤土、クリーンユーキ肥料、ミラクル活性液）

12月 仕込み ①粃殻堆肥 ②落葉堆肥

切り返し、水分調整、発酵温度の温度記録
竹林整備、竹炭・竹チップづくり

04月 肥料散布、竹チップを通路マルチとする



ご清聴ありがとうございました。